



2012年1月22日
号外

民主党プレス民主編集部
〒100-0014
東京都千代田区永田町1-11-1
電話03-3595-9988 (代表)
press@dpj.or.jp
http://www.dpj.or.jp

野田内閣 復旧・復興に全力

2012年度定期大会を開催

2012年度定期大会を16日、都内で開催しました。野田佳彦代表（総理）はあいさつで、震災復興、原発事故収束、聖域なき行政改革、政治改革を断行したうえでの社会保障と税と一体改革をやり抜く決意を訴え、今年1年が日本再生の元年となるよう協力を呼びかけました。

野田代表は今年1年を大震災からの本格的な復興、原発事故との闘いに打ち勝ち、福島再生を確かなものにするために、民主党政権および日本にとって正念場の年と位置付け、経済の立て直しと雇用の確保こそが大震災からの復興をはじめ、日本再生の第一歩となるとの決意で臨むと表明。そのためにも、もう一度政権交代の原点に立ち、日本と国民のために「ネバー・ネバー・ネバー・ネバー・ギブ

アップ」の精神で全力を尽くす考えを示しました。

また野田代表は経済連携の推進、日米合意に基づく普天間基地の移設、社会保障と税の一体改革等の重要政策課題について言及し、これらの政策をやり切ることなくして日本と国民の将来はないと断言しました。

社会保障と税の一体改革については、聖域なき行政改革や政治改革を実施したうえで必ずやり抜くと覚悟を表明し、ともにこの改革を成し遂げ、明日の日本を切り開いていこうと力強く訴えました。

民主党2012年度定期大会



「衆議院議員の定数削減法案」と「1票の格差是正法案」 合同会議で了承



党政治改革推進本部（樽床伸二本部長＝党幹事長代行）総会・総務部門会議（座長・加賀谷健参院議員）

の合同会議を18日、国会内で開きました。

樽床政治改革推進本部長は冒頭、「定数削減という最も高いハードルにぶつかっていくこの決意をまず示していきたいと考えている。『定数削減』この一点張りで、最初の大きな風穴を開けていきたい」と力説し、出席議員に協力を求めました。

合同会議では、議員定数削減なくして社会保障・税一体改革なしという新たな方針を党で確認したことを踏まえ、マニフェストに掲げている衆院比例定数80削減

に向けた「公職選挙法の一部を改正する法律案」（衆議院議員の定数削減法案）と、「0増5減案」を採用した「衆議院小選挙区選出議員の選挙区間における人口較差を緊急に是正するための衆議院議員選挙区画定審議会設置法の一部を改正する法律案」（1票の格差是正法案）について樽床政治改革推進本部長から提案があり、参加した衆参両院議員の満場の拍手で了承されました。

なお、「1票の格差是正法案」について民主党がこれまで提案していた「5増9減案」や「6増6減案」ではなく自民党の「0増5減案」を採用したのは、法律で最新の国勢調査結果の官報掲載から1年以内と定められている衆院選挙区画定審議会の勧告期限が2月下旬に到来することや、衆議院議員の残り任期が1年半ほどとなっていることから、緊急避難的な対応として影響を受ける都道府県の最も少ないことが理由です。

「衆議院議員の定数削減法案」と「1票の格差是正法案」は
民主党 HP

<http://www.dpj.or.jp/article/100659/>

参照

がんばろう NIPPON

